

生産局長賞

集落の共通意識を醸成して被害を軽減

伊福（いふく）区（代表者 竹下好郎）
佐賀県太良町（たらちょう）

主な取組

イノシシ被害マップの作成で集落を再点検。侵入経路や繁殖地となっていた耕作放棄地を解消するため、和牛農家と連携して放牧を開始。イノシシのエサ場となっていた竹林の管理、エサとなっていたみかん等収穫残渣の処理に集落の住民総意で徹底して取り組む。

また、既に整備された電気柵についても集落役員の年2回の一斉点検により、適正な設置・管理を徹底。

さらに、農家のわな免許の取得者を育成するとともに、箱わなのトリガー（扉を閉めるスイッチ）を改良するなど、捕獲活動を強化。

この結果、被害は大きく減少し、集落をあげた取組として県の鳥獣被害対策の模範となっている。

捕獲したイノシシは、伊福区の行事で振る舞われ、地域の食文化としても定着している。